

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

ハスとスイレン

この季節、愛西市ではハスの花が田んぼを彩っています。

ハス(蓮)とスイレン(睡蓮)を指して**蓮華**(れんげ)といい、仏教とともに伝来したとされます。仏教では泥水の中から生じ清浄な美しい花を咲かせる姿が仏の智慧や慈悲の象徴とされ、様々に意匠されています。如来像の台座は蓮華をかたどっていますね。

陸上生活に適応して進化した高等植物でありながら、蓮と睡蓮はともに、水中生活をするようになった多年生の水生植物です。水位が安定している池などに生息し、地下茎から長い茎を伸ばし、水面もしくは水上に葉と花を展開します。

睡蓮は全世界に分布していますが、日本にはヒツジグサ(未草)の1種類のみが自生し、全国の池や沼に広く分布しています。この「ヒツジ」とは、時間の「未の刻」のことで、午後2時頃には花を閉じてしまう事を意味しています。日差しが弱くなる時間帯になると、その姿がまるで眠ってしまったかのように見えるため「睡蓮」という名前が付けられたそうです。

一方、蓮の原産地はインド亜大陸とその周辺とされます。古名を「はちす」といいますが、花托の形状を蜂の巣に見立てたとするのが通説となっています。蓮の草高は約1m、茎に通気のための穴が通っています。葉は円形で葉柄が中央につき、撥水性があって水玉ができます。そして、地下茎は「蓮根」(れんこん、はすね)といい、野菜名として通用しています。

また、蓮の果実の皮はとても厚く、土の中で発芽能力を長い間保持することができ、代表的な例として、1951年(昭和26年)3月、千葉市の落合遺跡で発掘され、大賀博士が発芽させることに成功したハスの実は、放射性炭素年代測定により今から2000年前の弥生時代後期のものと推定されました(大賀ハス)。その他にも遺跡から出土したものが発芽した例があります。

このように、蓮と睡蓮はたいへん似ていますが、実は、最近のDNA研究によると、まったく違う種で、蓮は睡蓮より進化している植物だそうです。睡蓮の根は塊状だそうです。そういえば、睡蓮の根を食べるといふ話は聞いたことがありませんね。



平成27年度 総会 開催

5月28日（木）佐織公民館におきまして、愛西市観光協会、ならびに、あいさいボランティアガイドの会の平成27年度の総会が開催されました。



まず、午後1時30分より愛西市観光協会総会として、加藤観光協会の挨拶に始まり、平成26年度事業報告と決算報告、規約の一部改正、役員改選、平成27年度事業計画と予算のそれぞれが説明され、質疑応答の後 満場一致で承認されました。その後、日永愛西市長、横井愛知県会議長、鬼頭西市議会議長の来賓祝辞がありました。

最後に富田津島警察署長から談話として、愛知県における交通事故、窃盗・空き巣事件、そして、東海地方最大の繁華街である名古屋市錦三丁目が多発している「ぼったくり事件」の発生状況について説明がありました。お話から「ぼったくり」の手口がよくわかりました。皆さん気をつけましょう。

なお、会員には「木曾川観光船」「尾張津島天王祭の講演会（6月21日）」「蓮見の会（7月11・12日）」の各チラシと「あいさい通信10号（6月号）」が配布されました。



引き続き、定刻から60分遅れで、3時30分から「あいさいボランティアガイドの会」総会として、荻野会長の挨拶に始まり、観光協会同様、議題は満場一致で承認されました。その後、鈴木愛西市副市長、加藤観光協会会長の来賓祝辞がありました。加藤会長から愛西市観光協会とボランティアガイドの会は内輪であり、今後も協力体制を継続していきたいと評価いただきました。

今回は、愛西市観光協会とあいさいボランティアガイドの会の総会を連続して開催しました。しかし、観光協会総会が時間延長したため、関係する皆様に大変ご迷惑をおかけしました。謹んでお詫び申し上げます。次回は時間に余裕を持たせて運営します。

夏休み 地引網引体験

愛西市観光協会では、今年の夏休みに合わせ7/20(祝)・8/2(日)・8/30(日) 7:30~12:00の3



回で地引網体験を開催する予定で、愛西市内小学校の親子向けに案内が配布されています。この日は大潮に当たり、木曾川では最大の干満変化が発生し、自然豊かな木曾川を知ることが出来ると思います。それに先立ち、6/27(土) 7:30~12:00にボランティアガイド会員も参加して練習を実施しましたところ、ボラやフナなどで大漁だったそうです。去年は大きなタイも捕れたそうですので、本番が楽しみです。

近江八幡 研修

あいさいボランティアガイドの会では、6月3日（水）に観光先進地である滋賀県近江八幡市へ研修に行き、午前中に伝統的建造物群保存地域である古い町並みを近江八幡市の観光ボランティアガイドさんに案内していただき、午後は、観光船で八幡堀を巡りました。時間的な制限がある中、今後の愛西市での観光施策、ボランティアガイドの手法について参考になる点をたくさん研修しましたが、6月定例会（6月21日）でも研修結果を話し合い下記意見が発表されました。



ア) ボランティアガイドによる案内について

- ・近江商人の街として、出身者や具体的な日本経済への功績がわかりやすく説明されていた。
- ・ボランティアガイドとしての歴史、組織の実績がある。愛西市には近江八幡市のような大きな観光資源が無い。
- ・マイクがあるため、ガイドから離れている人も案内が聞いたのが良かった。ハンズフリーの拡声器を使用していたため、ハンズフリーの拡声器を今後愛西市で用意すると良い。
- ・今後ガイドを行うにあたって、名札だけでなく帽子やベストといった「ボランティアガイド」と一目でわかるものがあると良い（近江八幡では会で支給されている）。
- ・ガイドをする際の苦労話等も聞けるとよかった。
- ・近江八幡のガイドさんが愛西市について知らなかった、事前に愛西市の事を知っていてほしかった。

2) 観光船 八幡堀巡りにについて

- ・観光船内での説明がすべて録音音声によるものであったため、味気ない印象を受けた。
- 観光船でのガイドは肉声による案内の方が良い。

3) その他

- ・会員相互の親睦を深められたのがよかった。今後もこのような研修の機会があると良い。
- ・行きのバス内などで、事前に近江八幡関連資料を用意してほしかった。
- ・定例会時などにガイドを想定して発表練習すると良い。
- ・あいさいボランティアガイドの会が案内を行う際、統一性のある説明、ガイド内容を意識するべき。
- ・近江牛、赤こんにゃく、クラブハリエなど食文化の進化が観光資源を創っている。
- ・観光案内所が歴史的建造物を利用している。



など、今後の愛西市での観光施策に反映していくと良いと思います。

あいさいボランティアガイドの会 6月定例会 議事録

◆会議（6月21日（日）10時半～、於：愛西市文化会館、24名出席）

下記議題について話し合いました。

① 蓮見の会 7/11(土)・7/12(日) 協力体制について

場所：森川花はず田 11日(土) 7:00～11:00、12日(日) 7:00～13:00

② 地引網体験 協力体制について

地引網体験練習 6/27(土) 実施済（2頁参照）

地引網体験 7/20(祝)・8/2(日)・8/30(日) 7:30～12:00

③ 近江八幡研修バス旅行について

3頁参照

④ 尾張津島天王祭 舞台裏ツアーについて

市江車関連祭事について補足説明、ツアー実施催事について確認をしました。

⑤ その他連絡事項

6/11(木)佐屋・立田地区ガイド報告

V G 7月定例会の予定

集合時間：7月19日（日）9時00分

集合場所：愛西市文化会館

内 容：尾張津島天王祭のDVD視聴による研修、夏の行事予定

あいさいさんが見る尾張津島天王祭



6月21日、あいさいボランティアガイドの会・定例会に先立ち、9時より「あいさいさんが見る尾張津島天王祭」と題して愛西市教育委員会の石田泰弘氏によるユネスコ世界無形文化遺産候補特別講演会を開催し、80人程に聴講いただきました。主催者の愛西市観光協会加藤会長の挨拶後、石田氏から尾張津島天王祭に登場する市江車の役割について、布鉾衆の意味、船の大きさ、江戸時代における車田の広さなど伝統面から見た重要性、また、精進潔斎や女人禁制という伝統的文化の意義をわかりやすく説明していただきました。

たくさんの人の支えにより文化遺産は伝えられているのです。今年の尾張津島天王祭は、これら知識を持って見ると楽しいでしょう。



あいさいさん